

陳 情	受 理 番 号	133	受 理 年 月 日	令和 5 年 11 月 27 日	付 託 委 員 会	総 務
件 名	「女性活躍・ジェンダー平等社会」の実現方について					

## 「女性活躍・ジェンダー平等社会」の実現方について（陳情）

### 陳情の趣旨

- 1 審議会委員や管理職の女性登用について、より積極的に取り組むこと
- 2 市議会に女性議員を増やすため、クォータ制を導入すること
- 3 副市長は、男女一人ずつの体制を実施すること
- 4 女性の人材育成につながる研修の強化と活動補助金の増額

### 陳情の理由

那覇市女性ネットワーク会議（通称 あけもどろ女性の会）は、女性が輝く社会を目指して 2016 年（平成 28 年）に結成、これまで、なは女性センターを活動拠点に「なは男女平等推進プラン」の実現をめざして活動してまいりました。

この度、沖縄県においては第 6 次 DEIGO プランが作成されました。那覇市においても第 4 次なは市男女共同参画計画（なは男女平等推進プラン）が作成され、5 年が経過し、今年度は、中間地点となっております。現在、審議会委員の目標値 50%のうち達成率は 42.2%であり、女性委員ゼロの審議会は、4 委員会残っています。

また、市職員の女性管理職（課長以上）の割合は、中間目標値 17%に対し、達成率は 17.8%で上回っていますが、到達目標（2028 年）の 20%に向けて積極的な登用が必要です。さらに副市長は男女一人ずつの体制が望ましく、ジェンダー平等に繋げることが大切です。

世界経済フォーラムが毎年発表している「ジェンダーギャップ指数」で日本は、2023 年現在 146 ヲ国中 125 位。女性の地位は先進国の中でも最下位となっています。

特に女性の政治の分野の遅れが指摘されています。女性議員を増やすには、「クォータ制の導入」が必要です。「なは男女平等推進プラン」の目標達成のためには、女性の人材育成につながる研修の強化と活動補助金の増額が望まれます。

「女性が輝く那覇市の実現」に向け、「女性活躍・ジェンダー平等社会の実現」を目指すため、上記の事項について、是非、ご尽力くださいますよう陳情いたします。